

# 植樹式 2008



時の蘇生・柿の木プロジェクト

# 目次

2020年更新

3月6日		ドン・レーモ・トノリ小学校 ..... 1 イタリア・ブレシア県・コッカーリオ市
3月6日		レオナルド・ダ・ヴィンチ中学校 ..... 2 イタリア・ブレシア県・ロヴァート市
3月7日		エヴァリスト・アルミーチ高齢者ケアセンター ..... 3 イタリア・ブレシア県・レッツァート市
3月7日		レノ小学校 ..... 4 イタリア・ブレシア県・レノ市
3月8日		市立ブローロ公園 ..... 5 イタリア・ブレシア県・カステニャート市
3月9日		アヌンチャータ修道院 ..... 6 イタリア・ブレシア県・コッカーリオ市
3月23日		ベルナルル・ビュフェ美術館 ..... 7 日本・静岡県・駿東郡
		コロンビア国際熱帯農業研究センター ..... 8 コロンビア
3月		大垣日本大学高等学校 日本・岐阜県・大垣市
3月		大垣市立墨俣保育園 日本・岐阜県・大垣市

# ドン・レーモ・トハリ小学校

🇮🇹 イタリア

📍 ブレシア県・コッカーリオ市

🌱 2008年3月6日



フランチャコルタ・モンテ・オルファノ平和会議協会が中心になり、ブレシア州の6つの市に植樹が実現しました。そのうちの1カ所が、コッカーリオ市のドン・レーモ・トハリ小学校です。海老沼先生たちが到着したとき、食堂で給食を食べていた子どもたちは、大きな拍手で出迎えてくれました。植樹式に先がけて、子どもたちの制作した大きな原爆雲のある廃墟の町と、大きな柿の木が真ん中にそびえて美しく再生した町の模型、また柿の木のオブジェやドローイング、コラージュ、そしてプロジェクターで天井に投影された柿の木の物語をみせてもらいまし

た。それらはとても素晴らしいもので、先生方が詳しく説明してくれました。

植樹式は、小学校の正面の校庭で行われ、全校生徒が大きな旗を囲んで座りました。そして、校長先生の話、担当の先生からプロジェクトについての説明、海老沼先生のメッセージ、子どもたちの歌が披露され、柿の木ふろしきの贈呈、詩の朗読と続きました。二人1組になって日本の茶摘歌のようなふりつけて踊る簡単なゲームもしました。

その後、手作りのメダルが子どもたち全員と、海老沼先生をはじめ参加者全員の首にかけられ、子どもの代表3名によって柿の木に土がかけられ、植樹が行われました。柿の木のまわりには、立派な木の柵がつくられ、白い記念碑も立てられていました。海老沼先生がその記念碑にかけられた赤い布を序幕して、植樹式が終了しました。植樹式終了後も、海老沼先生は子どもたちにサイン攻めにあっていました。



# レオナルド・ダ・ヴィンチ中学校



イタリア



ブレシア県・ロヴァート市



2008年3月6日



フランチャコルタ・モンテ・オルファノ平和会議協会が中心になり、ブレシア州の6つの市に植樹が実現しました。そのうちの 하나가、国立レオナルド・ダ・ヴィンチ中学校です。植樹式に先駆け、平和行進がミラーニ小学校から始まりました。ミラーニ小学校の子どもたちは、首から手作りカードをさげ、30×20メートルぐらいの大きい旗を全員で持ち、警官に先導され、苗木を持った海老沼先生について、町を植樹場所まで行進しました。植樹場所に近づく頃には、子どもたちは「PACE」(平和)と行進のリズムにあわせて、かけ声をかけていました。植樹場所の国立レオナルド・ダ・ヴィンチ中学校に到着すると、中学校の先生と数人の学生が市の旗や、メッセージを手にもち、出迎えてくれました。それから、全生徒と、さらには、近所の幼稚園の園児たちが、先生や親たちに手をひかれやっ

てきました。幼稚園の園児達は各自、手作りの「PACE」(平和)の旗を持っていました。

植樹式は、大勢の子どもたちとともに、幼稚園の園児達による歌、海老沼先生からのメッセージ、市長の挨拶、中学生グループによる研究発表、詩の朗読などがあり、また、小学生による歌も披露されました。そして、代表者による植樹が校門近くの校庭で行われました。

植樹式の最後には、みんなでまた歌を歌い、たくさんの風船が空へ放たれました。歌にあわせ、先生方は踊りだし、幼稚園生は旗をふるなど、植樹式は最高潮のうちに幕を閉じました。植樹式終了後、市長、海老沼先生たちに子どもたちから折鶴が贈られました。



# エヴァリスト・アルミーチ 高齢者ケアセンター

🇮🇹 イタリア

📍 ブレシヤ県・レッツアート市

🌱 2008年3月7日

フランチャコルタ・モンテ・オルファノ平和会議協会が中心になり、ブレシヤ県の6つの市に植樹が実現しました。そのうちの1か所が、レッツアート市のエヴァリスト・アルミーチ高齢者ケアセンターです。

海老沼先生たちが到着すると、近くの小・中学校の子どもたちや近隣の人々が大勢の集まっており、レッツアート市長とともに大歓迎で迎えてくれました。センターの窓には、日本の国旗とイタリアの国旗が掲げてありました。植樹式は、柿の木プロジェクトの説明、来賓挨拶、市長の挨拶の後、海老沼先生のスピーチと続きました。その後、海老沼先生より施設の老人に柿の苗木が贈呈され、子どもと大人の代表により、センター前庭に柿の木が植樹されました。その

後、司祭によるお祈りと、「皆さんの心の中に平和の種を植え、この日を忘れないようにしましょう」というお話がありました。また、何組かの子どもたちによる詩の朗読と中学生による劇が行われました。劇の内容は、平和に遊ぶ子どもたち（ボールをつく男の子、なわとびをする女の子、輪投げをする女の子）が、突然倒れ、白い布でおおわれてしまいます。そして、その子どもたちを、木の枝を持つ妖精のような女の子によって蘇生していく姿が描かれ、柿の木プロジェクトを象徴するような内容でした。その後、参加者に折鶴が配られ、子どもたちによる楽器演奏、中学生による詩の朗読と続き、最後に柿の木ふろしきの贈呈が行われ、2時間にもおよぶ盛大な植樹式が終わりました。



# レノ小学校

🇮🇹 イタリア

📍 ブレシア県・レノ市

🌱 2008年3月7日

フランチャコルタ・モンテ・オルファノ平和会議協会が中心になり、ブレシア県の6つの市に植樹が実現しました。そのうちの1か所が、レノ市のスタートル小学校です。

小学校には、「核兵器のない世界へ」と漢字で書いたおおきな垂幕が掲げられ、校内の天井にはオレンジ色の風船や、折鶴が飾り付けられたりと歓迎ムードいっぱいでした。海老沼先生たちが到着すると、この日のために作った大きな創作物を手に持った子どもたちが教室から出てきて、校庭で出迎えてくれました。

近所の大人たちや、近隣の中学生も大勢集まり植樹式が始まりました。まず、校長先生によるプロジェクトの説明、原爆の話があり、日本の「さくら」が流れる中、来賓の紹介がありました。続いて日本の国歌「君が代」とイタリアの国歌が子どもたちの美しい歌声で披露され、レノ市の市長の挨拶があり、海老沼先生の挨拶と進みました。海老沼先生がスピーチの中で「今日は私の誕生日です」と言うと、すぐに子どもたちからハッピーバースデーの歌の贈り物がありました。植樹は「イマジン」の曲が流れる中行われ、たくさんの風船が空に飛ばされました。小学生の子どもたちによる詩の朗読や歌がたくさん披露されました。さらに、中学生の代表数名からも詩が披露され、最後には折鶴が参加者全員に配られ、植樹式は大いに盛り上がり終了しました。





# 市立フローロ公園

🇮🇹 イタリア

📍 ブレシア県・カステニャート市

🌱 2008年3月8日

フランチャコルタ・モンテ・オルファノ平和会議協会が中心になり、ブレシア県の6つの市に植樹が実現しました。そのうちの1カ所が、フランチャコルタ・モンテ・オルファノ平和会議協会の拠点があるカステニャートのアミチス小学校と高齢者向け福祉センターに隣接した公園です。公園の大きな広場には、仮設の舞台が用意され、壁には前日のブレシアの植樹に使用された大きな旗が掲げられました。



植樹式は、残念ながら小雨まじりのお天気でしたが、アミチス小学校の子どもたちがきちんと整列して先生に誘導されてぞくぞくと公園に

やってきました。子どもたちは各自、ひもをつけた折鶴を手に持っています。大人たちも大勢集まってきました。Mr. Giuseppe Orizio (カステニャート市長)、カステニャート小学校のエリア・ラベリ校長の挨拶の後、海老沼先生の話がありました。また現地に住む広島の被爆者 田中昭三氏から被爆体験が語られました。子どもたちの詩の発表の後、ギターの伴奏にあわせ、みんなが歌う中、代表の最年少の子どもたちが大きな植え鉢に植樹された柿の木に土をかけていきました。最後に子どもたちから思いがけなく、海老沼先生へハッピーバースデーの歌のプレゼントがありました。柿の木は公園の整備終了後にきちんと地植えされましたが、残念ながら枯れてしまい、2009年3月14日に再び、子どもたちを招いて、再植樹式を開催しています。今度は整備された公園に直接地植えされたので、元気に育つことを確信しています。



# アヌンチャータ修道院

🇮🇹 イタリア

📍 ブレシア県・フランチャコルタ

🌱 2008年3月9日

フランチャコルタ・モンテ・オルファノ平和会議協会が中心になり、ブレシア県の6つの市に植樹が実現しました。その中心であるフランチャコルタ・モンテ・オルファノ平和会議協会が主体となり、ブレシア県の一連の植樹の総括として実現したのが、アヌンチャータ修道院横の広場の植樹です。植樹式に先駆け、植樹場所のアヌンチャータ修道院の回廊では、「広島原爆」をテーマにした展示が行われました。

植樹参加者たちは、まずコッカーリオ市に集まりました。雨のふる中、白いテントが用意され、そこで代表の市長の挨拶、主催者の挨拶、ギターにあわせての物語が発表されました。3月6日に植樹をしたロヴァート市、コッカーリオ市、3月7日に植樹をしたレノ市、レッツアート市、3月8日植樹をしたカステニャー市の5名の市長たちも参加してくださり、コッカーリオからモンテ・オルファノへ「フランチャコルタ平和の道」の平和行進が始まりました。先頭には、3人の女の子がそれぞれ「PACE」の旗、イタリアの国旗、日本の国旗を掲げ、その後には、苗木を手を持った海老沼先生、通訳の伊藤淳氏、たいこを持った高校生の音楽隊と続き、市長たち、子どもたち、市民と長い行列で行進しました。とても多人数の行進なので、警官たちが警備にあたってくれていました。途中、人々はリズムにあわせて、

歌を歌ったり、「パーチェ！（平和）、パーチェ！（平和）」と掛け声をかけたりしていました。



約40分かけてモンテ・オルファノの小高い丘にたつアヌンチャータ修道院に到着。そこで再び、フランチャコルタ・モンテ・オルファノ平和会議協会代表の挨拶、ミラノの在イタリア日本国領事館 東博史領事の挨拶、海老沼先生の話があり、植樹となりました。領事、市長たち、マニセラ氏、代表の子どもたちによって土がかけられ、植樹式が無事に終わりました。植樹式の後、修道院にて、ミサが行われ、参加者は、元気に育つことを確信しています。





# ベルナール・ビュッフェ美術館

🇯🇵 日本

📍 静岡県・駿東郡

🌱 2008年3月23日



静岡県のベルナール・ビュッフェ美術館は、クレマチスの丘にあり、ヴァンジ彫刻庭園美術館などにも近接しています。この美術館には子ども美術館が併設されており、周辺地域のみならず関東から足を延ばして訪れる家族の姿も見られます。2008年1月～3月に合計10回開催されたワークショップでは、100組の親子が参加し、柿の葉コラグラフ（版画）を作成し、柿の木プロジェクトを学びました。

植樹式当日、午前中には静岡県在住アーティスト持塚美樹氏が描いた「生命の樹」に子どもたちの描いた柿の葉をコラージュしていくワークショップが行われました。この樹は10年間に1000枚の葉が加えられていく予定です。

午後はビュッフェの絵に囲まれて、マリンバ奏者小松玲子さん、北方寛丈さん（ピアノ）、宮地良幸さん（ドラム）によるメモリアルコンサートが催され、小松さんと北方さんにより作曲さ

れた「柿の木プロジェクト」をイメージしたオリジナル曲「Tree」が披露されました。

その後、前庭に2本の柿の木が植えられ、その横には子どもたちのメッセージが書かれた柿の葉コラグラフを入れた大きなタイムカプセルが埋められました。カプセルは10年後の「Harvest of KAKI」に開封されることになっています。

長崎から海老沼先生も駆けつけ、豊かな自然に囲まれた館内に賑やかな子どもたちの声が響きわたる植樹式になりました。



# コロンビア国際熱帯農業 研究センター

-  コロンビア
-  コロンビア
-  2008 年

